

食品業界において海外で活躍できる
標準化エキスパート人材を育成するために

参加
無料

平成30年度新たな種類のJAS規格調査委託事業

専門人材育成のための研修会 開催のお知らせ

開催にあたって

欧米主導の国際標準化活動が活発化する中、従来に見られてきた既存国際標準を遵守するという守りの立場から、新しく国際標準を提案・制定するという攻めの立場へと移り、国際的に活躍できる専門人材が必要とされてきています。

農林水産・食品関係の国際標準化においても、官民一体となった攻めの取り組みが緊急の課題であり、日本に必要かつ有利な国際規格策定に向け、国際会議等で活躍できる専門人材の育成・確保を目的とした研修会の開催をいたします。

是非ご参加ください。

お申込み各編とも(1社2名まで参加可能)詳細は

<https://www2.jma.or.jp/qa/jas01>



お問い合わせ先

一般社団法人日本能率協会 審査・検証センター

〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22 TEL:03-3434-1242 FAX:03-3434-1243

2019年
理論編 3月13日(水)

会場：AP新橋 会議室(東京都・港区)

参加対象：

- 農林水産・食品産業の中でも海外でのビジネス展開に意欲を持つ企業で働く方
- これから国際規格化の世界に携わる方

参加定員：20名

2019年
応用編 3月14日(木)

会場：
AP新橋 会議室(東京都・港区)

参加対象：

- ISOやFSSC認証を有する企業等で品質管理、知財管理、法務渉外などの職務に携わる方
- ISOやCODEX等に関する知識や利用経験がある方
- すでに国際規格化の世界に携わっている方

参加定員：20名

参加に際しまして 参加定員：各20名

理論編(基礎)と応用編(実践)の2つに分けましたが、実務者として活躍してもらうには理論編から応用編へと通して受講されることをおすすめいたします。

お申込み各編とも(1社2名まで参加可能) 詳細は

<https://www2.jma.or.jp/qa/jas01>



研修のねらい

工業分野のJIS(日本工業規格)については、国内規格制定よりも先に、国際規格制定に国内産業界が深く関与すべき時代になっています。

つまり、国際規格を先に制定し、それをJIS化することが主流になっています。農林水産・食品分野のJAS(日本農林規格)についても同様に、これまでのように国内市場の産物の品質の確保を重点にしながらも、同時に海外での規格制定への先行的かつ積極的な関与が必要となってきています。

本研修のねらいは、国際的な規格制定や標準化の世界の現状を広く俯瞰し、国際会議において日本主導の立場を確保し、日本の農林水産・食品産業界のために国際標準化を技術面および政治面で推進できる人材の育成です。

本研修では、国際標準化プロセスの基礎知識の習得に加えて、国際会議に必要とされるビジネスマナーや英語力、プレゼン力など、基礎的な国際交渉技能を併せ持つ人材の育成を目指します。

さらに農林水産・食品関係の国際ビジネスを推進すべき立場にある企業人が業界や企業の枠を超えて同じテーマに取り組むことで、農林水産・食品産業における国際標準化への機運を醸成し、国際会議や国際交渉において企業の枠を超えて協働する人材ネットワークの構築も目指します。

参加に際しまして 参加定員:20名

理論編(基礎)と応用編(実践)の2つに分けましたが、実務者として活躍してもらうには理論編から応用編へと通して受講されることをおすすめいたします。

基礎から学べる 2019年 理論編 3月13日(水) 国際的に通用する エキスパートを育てよう!

(1日間) プログラム 10:00~18:00

- 1 技術戦略と標準化**
・国際標準化業務に必要な基礎知識 ・共通化、寡占化、差別化の標準化
- 2 知財戦略と標準化**
・標準と知財の関係
- 3 標準化戦争の事例 — 欧米対日本(ビデオ放映とQ&A)**
- 4 国際ビジネスの技能**
・国際ビジネスの技能1 — ロビー活動とビジネスマナー
・国際ビジネスの技能2 — 英語とタイプの常識
・国際ビジネスの技能3 — プレゼンテーション技法
- 5 受講内容について受講者全員の個人発表**

課外学習：洋食のテーブルマナー

任意参加(ご希望者は研修会申込時にご選択ください): 外部飲食店(銀座を予定)、会費制(税込5,000円を予定)

※ レストラン参加を希望される場合、領収証の発行については、レストランからの領収証発行となります。予めご了承ください。

※ 上記スケジュールは、状況により多少の変更を行う場合があります。
※ 休憩は、適宜入れさせていただきます。

食品業界において海外で活躍できる標準化エキスパート人材を育成するために

専門人材育成のための研修会

研修の概略

日本能率協会が通常実施しているマネジメントシステム関連の研修ではなく、広く国際標準化について扱うプログラムとなっております。

理論編

国際標準化の世界を広く俯瞰し、その中での国内規格の位置づけ、農林水産・食品関係標準の立ち位置を理解し、続いて国際標準化について素案作成から規格文書発行までのプロセスを広く学びます。最終的には規格・認証制度を活用した国際競争力の強化への意識を高めるとともに、規格・認証の作成・採択に係る実務に携わることができるよう、規格化作業に必要とされる最低限度の知識を得ることを目指します。理論編では座学の講義で国際標準化の全体像を把握することを目的としています。

応用編

国際会議における技術と政治の関係について学ぶことを目的としています。日本発の標準には技術的な優位性の裏付け(大義名分)が必要となりますが、農林水産・食品分野では、文化的にマイナーな日本の提案内容が理解されず、海外諸国から政治的に否定されることもあります。そのような国際ビジネスの政治交渉に対応するために「決定する会議術・成功する交渉術・勝利する闘争術」を学びます。応用編では政治交渉などの理論の理解を中心に1日、ロールプレイなどの実践の理解を中心に1日の計2日間の研修として実施いたします。

講師:

(理論編・応用編担当講師)



桜美林大学大学院 客員教授
原田 節雄

具体事例(特殊性)と研究よりも原理原則(普遍性)と実行の提唱者

役職

- ・一般社団法人 国際標準化協議会 理事
- ・一般社団法人 ファインパブル産業会 顧問 (ISO/TC 281国内委員会副委員長)
- ・学校法人 桜美林大学大学院 経営学研究所 客員教授
- ・東京工業大学 岐阜大学 非常勤講師
- ・経産省/農水省および日本規格協会 /日本能率協会が主催する国際標準化人材育成講座講師

経歴

- ・ソニー株式会社コーポレートテクノロジー部門 技術渉外室 統括室長など(ソニー勤務40年)
 - ・一般社団法人 情報処理学会(情報規格調査会)規格理事
 - ・国際電気標準会議(IEC)電子実装技術専門委員会(TC 91)国際幹事
 - ・国際電気標準会議(IEC)標準管理評議会(SMB)日本代表委員
- 受賞歴
- ・2004年 経済産業大臣表彰(工業標準化事業への貢献)
 - ・2008年 内閣総理大臣表彰(国際標準化活動への功績)
 - ・2008年 大川出版賞(世界市場を制覇する国際標準化戦略)
 - ・2009年 情報処理学会(情報規格調査会)標準化功績賞

すでに職務に携わっている方には 多くを学べる2日間開催 2019年 応用編 3月14日(木)・15日(金) 貴社の専門人材を より育成するために!

(2日間) プログラム 各日10:00~18:00

- 1 事業と企業経営**
・現象と本質の理解 — 量と質と時間の考察
・企業(家族・国家)を支える事業 — 複合と複輪の経営
・企業(家族・国家)経営の四要素 — ヒト・モノ・カネ・ルール
 - 2 理想的な会議事例 — ビデオ放映「12人の怒れる男」とQ&A**
 - 3 渉外ビジネスのツール**
・渉外ビジネスのツール1 — 会議、その種類と決定する会議
・渉外ビジネスのツール2 — 交渉、その要点と成功する交渉
・渉外ビジネスのツール3 — 組織、その種類と勝利する闘争
 - 4 まとめのグループ討議と発表 ※日本語(英語)**
・講座で学んだポイント、重要事項についてグループ内で討議、グループ毎に発表
-
- 1 ビジネスの技術と政治の両側面**
 - 2 ロールプレイ1 ※日本語(英語)**
・会議術の復習 ・ロールプレイ 結論のない事後交渉の演習
 - 3 ロールプレイ2 ※日本語(英語)**
・交渉術の復習 ・ロールプレイ — 二者間のデジタル闘争と事交渉の演習
・グループ討議と結果発表
 - 4 ロールプレイ3 ※日本語(英語)**
・闘争術の復習 ・ロールプレイ — 三者間のアナログ合意と事前交渉の解説
 - 5 ロールプレイ4 ※日本語(英語)**
・ロールプレイ — 二者間のアナログ合意と事前交渉の演習
・グループ討議と結果発表

※基本は日本語で実施します。但し、参加者の語学習熟度によっては、一部を英語で実施する場合があります。

※ 上記スケジュールは、状況により多少の変更を行う場合があります。
※ 休憩は、適宜入れさせていただきます。